

建設長崎

November
No.545

2010年11月15日
1部20円 組合員の購読料は組合費に含まれます
印刷 (株)昭和堂 TEL 095 821 1234

御 礼
去る11月13日に開催しました
建設長崎結成50周年
長崎国保創立50周年
専門学院創立50周年
記念式典は皆様のご協力で盛会裡に終了することができました。ありがとうございました。
記念式典実行委員長 相川 哲男

発行 長崎県建設産業労働組合 〒852 8021 長崎市城山町17番58号 TEL 095 862 7121 FAX 095 862 5281 http://www.kensetunagasaki.org/ 発行責任者 北村政和 編集人 田上一郎

2010まちづくり総合住宅フェア

長崎・佐世保・島原地区で開催



各会場で親子木工教室・棟上げ

すのこ・ガーデニングチェアを作成

長崎県・長崎県ゆとりある住まいづくり推進協議会主催で、長崎県建設産業労働組合・(社)長崎県中小建設業協会ほか二十三団体の協賛により、十月十日に佐世保会場(島瀬公園)、十月二十三日、二十四日に長崎会場(夢彩都よこおくんち広場)、十月三十一日に島原会場(小浜温泉マリナーパーク広場)で、「省エネ・エコによる健康で安全な住まいづくり」をテーマに開催されました。

佐世保会場 では、組合員による棟上げ、丸太切り・くぎ打ち大会、耐震実演コーナー、もちまきが行われ、又、建設長崎専門ブースでは、すのこ作りや、婦人部による鉢花販売等を行い、子どもから大人まで楽しめるイベントが開催されました。

島原会場 では、実行委員長の開催宣言、島原振興局長ほか六名で釘打ち・丸太切りで開催されました。

長崎会場 では、開会宣言の後、当推進協議会の八名の理事(金子三智郎を含む)による釘打ちの後、もちまきで開幕。初日(二十三日)は晴天に恵まれ、丸太切り、釘打ち大会、組合員による耐震実演を行い、又、建設長崎の専門ブースでは、親子で楽しめる木工教室で「ガーデニングチェア」の製作に多くの親子連れで賑わいました。会場内では、和太鼓演奏、チンドンショーなどのイベント



ゆれゆれ君体験する人たち

秋田県

仕事とくらしの危機を打開し 建設国保を守りぬこう!!



秋田県民会館に1,525名集い 第51回 全建総連大会開く

— 中央執行委員に相川委員長再任 —

全建総連第五十一回定期大会が、十月六日(水)から八日(金)の三日間、秋田県「秋田県民会館」で、五千三百名連・組合から、五二五名の仲間が集い開催されました。

第一日は、田村豪典中央執行委員長が「建設不況のなか、新しい仲間を増やす運動に全国の仲間が一つとなり取り組もう」とあいさつ。来賓紹介・あいさつに続き、第五十年度経過報告・財政決算報告・会計監

査報告があり、第五十年度の運動方針・一般会計予算各案の提案が行われました。

二日目は、十一の分科会に分かれて各専門部の議案についての討議が行われ、建設長崎の代議員九名と一般参加七名も各分科会に分かれて参加しました。

最終日の三日目は、前日に開かれた分科会の議長報告があり、第一分科会(労働対策)の議長を務めた建設長崎の石田書記次長が議長を務めました。

長報告を行いました。その後の本会議では、第五十年度の運動方針・予算各案などが原案どおり決定され、「仕事とくらしの危機を打開し、建設国保を守りぬぎ、七十万人の早期回復を」とした大会スローガンが採択されました。

新年度の役員選出では、建設長崎から中央執行委員に相川哲男執行委員長が再任。

県下各地より805名が集う

建設長崎組員・家族慰安

大運動会



本部旗を高々と掲げ、市内青年部長が掲揚ポールへ



金子県議



相川委員長

雲ひとつない秋晴れの下、「建設長崎組員・家族慰安大運動会」が10月17日(日)長崎市琴海大平町の「北部グランド」で開催されました。

昨年は、雨により開会式と福引きだけの運動会でしたが、今年は天気恵まれ、県下各地より大勢の参加で賑わいました。



みせつける時、ダッシュ!

障害物競走

丁藤副委員長の開会あいさつの後、長崎市内青年部の手により大会旗が入場、メインポールに高々と掲揚されました。
続いて、聖火が入場、聖火ランナーは、東長崎支部の本田勇さんが行い、聖火台に赤々と点火されました。大会実行委員長の相川執行委員長のおいさつに続き、来賓あいさつの紹介、祝電披露後、一昨年度の優勝旗・トロフィーが返還、選手宣誓では佐世保東支部青年部長の柳光輝さんが力強く行いました。

その後、競技上の説明があり、準備体操で体をほくした後、幼稚園、小学生による徒競走の部で午前中の競技が開始、各種競技、技能オリンピック、各種リレーの予選が行われました。昼食時のテントの中では、弁当を囲んで懇親を深める和やかな光景が見られました。

恒例の福引も次々と特賞が飛び出し大盛況でした。午後からは、恒例のムカデ競走、飴食い競走、けつ圧競走、玉入れなどが行われ、最後の各リレー決勝では支部の応援合戦にも熱が入り大いに盛り上がりました。
全ての競技が終了し、表彰式の後、相川執行委員長より講評を受けました。閉会の言葉では、丸田副委員長より厳しい今こそ更なる団結を誓い、来春の県議選必勝を目指して、参加者全員で元氣よく「団結力ンバロウ」を三唱して運動会を終りました。



聖火入場



選手宣誓



[優勝] 諫早支部
[準優勝] 北松支部
[3位] 大村支部



[優勝] 大村支部
[準優勝] 島原支部
[3位] 諫早支部



[優勝] 佐世保東支部
[準優勝] 佐世保中央支部
[3位] 諫早支部



足は早いぞ！
誰もが1番になる気持ちで



釘打ちはおてのもの



技能オリンピック



福引競走“獲物は重いぞ”



~早い者勝ちだよ~
お昼前の「全員集合」

組合結成65年の歴史を糧に 未来の活路を切り拓こう！



ケツ圧競走は任せて！



俺が1番だ~



ボールが思うように飛ばないよ



今こそ、若者の力を



浦上西支部 松崎 與さん
(空気清浄器)



大村支部 副島俊哉さん
(ハンドミキサー)

福引特賞 大当り



北松支部 池本 勇さん
(ホームベーカリー)



浦上西支部 濱口信夫さん
(ホットプレート)



やっと
ゴール！
疲れた~



白熱した応援



玉入れ

中央支部

茂木分会住宅デー

～節目となる十回目のまつり、例年以上の来場者～

十一月三日(水)、中央支部 住宅デーを総勢二十五名の参加で茂木フェリー乗り場で開催しました。今回で十回目の区切りとなる祭りであつて来場者も例年より多く、開始直後から支部のテントには多くの積ひた包丁と生臭いマナ板の山が築き上げられていました。

- 参加者 (敬称略)
- | | |
|--------|-------|
| 田森 勝 | 内野 幸雄 |
| 太田 俊一 | 太田 寿俊 |
| 山口 龍志 | 山口大志郎 |
| 大平 高好 | 小川 友也 |
| 石橋 廣喜 | 大石 直 |
| 馬渡 正幸 | 手水 鐵吉 |
| 吉岡 照國 | 田川 修 |
| 山下 廣造 | 高尾 政和 |
| 川原 龜喜 | 樋口 義雄 |
| (諫早) | |
| 馬場とろ子 | 川原 幸枝 |
| 内野 計子 | 馬渡とろ子 |
| 太田 昌子 | 山口美佐江 |
| 金子喜久枝 | 金子泉議 |
| 北村副委員長 | 田上書記長 |

また、今回は友誼支部の諫早支部より樋口支部長が陣中見舞いに駆けつけ、テント内の慌しさを見かねてマナ板削りの手伝いを行って頂きました。午後からは若干客足が鈍り、少し余裕を持つて作業に当たることができるようになり、参加者の中には他の出店やイベントを楽しむ方もおり、住宅デーを無事終了しました。(内野幸雄)



大村支部

支部旅行

～鮮やかな紅葉と食事に満足～

十月三十一日、焼酎・日本酒など各人好きな物を飲みながら、最初の泊一日の日程で「別府市内&青の洞門・宇佐八幡宮・杵築観光・夢大吊橋・阿蘇ファームランド」に支部旅行で行ってきましました。今回の参加者は五十六名でした。朝八時にバス二台で出発し、ビール・

の目的地的杵築の城下町へ向かいました。長い緩やかな石階段が続く、長い土塀や白壁の続く武家屋敷通りがありました。まるで江戸時代に戻ったかのような町並みでした。宿泊場所は別府市内のホテルで宴会前にさっぱりしたいと、皆さん温泉へ向かっていました。宴会会場には食べきれない程の豪華な夕食が沢山並んでいました。宴会も盛り上がり、竹松第二分会の松崎秋夫さんが、この日のために準備してきた衣装をまとって余興が始まりました。会場は大拍手と笑い声に包まれ、アンコールまで出て最高に盛り上がりました。(立野)

平戸支部

主婦会日帰り旅行

～下関

～日常生活を忘れ、楽しい一時～

十月三十一日(日)、平戸支部主婦会は下関への日帰り旅行に行つて参りました。テレビサスペンスにも登場した青島海岸怒涛の波に感嘆し、あいにくの天気期待のエメラルド色の海と透はいきませんでした。テレビコマーシャル等でも度々見かける美しい角島大橋を爽快に渡る事も出来ま

七名の参加ではありませんでしたが、道中の疲れも何のその、帰りはたくさんのお土産を両手に抱え、仕事や家事から解放された楽しい一日を過ごし、明日からの活力源となりました。お世話下さった皆様、有難うございました。平戸支部 松田エミ子



諫早支部

住宅デー

～おもしろ案山子祭り?～

台風も無事に逸れ、秋晴れの十月三十一日(日)、諫早支部では、二年ぶりとなる支部住宅デーを開催しました。月光仮面でした。包丁研ぎ? 勿論がんばりましたよ。月光仮面に見守られて、怪我もなく百四

くもり一升瓶を傍らに横たわった男性が。酔っ払い? と思つてみて見ると、その正体は案山子でした。あまりにもリアルな出来栄に、通る人は皆ビクビク! 実は、森山分会の役員の方々が夜に集まって、作成したらしくその数五体。よっぽ

支部だより



十七本の包丁を研ぎ上げました。そして中央支部の内野支部長、陣中見舞いありがとうございました。(池田)



中央支部

ボウリング大会

～沢山の賞品で、大盛り上がり～

支部では長崎スポーツセンターにおいて選手・応援含めて四十一名の参加で第四回目となるボウリング大会を開催しました。午後七時、開会式を



季節外れの台風も東へ逸れ、時おり強い秋風の吹く肌寒い十月三十日(土)、中央

早くに済ませ若干の練習後、ゲームスタート。レーンに引きよる飛賞とあつて、皆さんワクワクしながら自分の名前が呼ばれるのを心待ちに最後まで楽しい一時を過ごしました。参加者の皆さん、お疲れ様でした。(坂口)

本部主婦会 日帰り旅行会

百名の参加 最後は「河内おとこ節」で終了



十月二十六日(火) 爽やかな秋晴れの 下、建設長崎本部 主婦会日帰り旅行 会が稲佐山温泉 「アマンディ」で 開催されました。 県下各地より九一 名の主婦会の皆さ んと書記局を含め て百名が参加しま した。馬場副会長 の開会のあいさつ で始まり岡崎会長 のあいさつその後 相川執行委員長 金子卓議と来年の 十月二十六日(火) 爽やかな秋晴れの 下、建設長崎本部 主婦会日帰り旅行 会が稲佐山温泉 「アマンディ」で 開催されました。 県下各地より九一 名の主婦会の皆さ んと書記局を含め て百名が参加しま した。馬場副会長 の開会のあいさつ で始まり岡崎会長 のあいさつその後 相川執行委員長 金子卓議と来年の

県議選に向けて団結して闘 おうと力強いあいさつを受 けました。 会場からの眺めはとて もすばらしく、長崎の港が眼 下に広がり風頭方面や旭大 橋・大波止のビル群等々秋 の陽を浴びて浮き上がって 見え、みなさんその景色に 見入っていました。



佐世保中央支部 ~雨にも負けず観光に買物。 山口、萩を堪能~

十月二十四日、日曜日、 天気雨、せっかくの支部旅 行でしたが、雨の中、山口 県は萩方面へ出発。 しかしバスの行程は順調 そのもの。悪天候でも渋滞 に遭わず、予定よりも早く 第一観光ポイント海峡ゆめ タワーに到着。 昼食は、唐戸市場横のカ モンワフで頂く事に。雨 で店の前までバスが着くプ チVIP待遇。お腹も膨れ 「雨上がればイイね」と言 いった次の目的地、青海島 へ移動。 バスガイドさんも組合員 さん方の空気になれてきた のか、違和感なくとけ込み 駁艀無礼連発ながらも笑い 絶えないバス車内、これが 百戦錬磨の実力なのか！ そっこうするうち青海島 へ到着し、現地のポロン ティアガイドさんを乗せ渡 島。なんでも夏ミカンの原 木がある島らしく、何と かって婆ちゃんが浜辺で チュツチュしてる時に拾っ た種から育ったのが夏ミカ ンだって話。 青海島帰りにはポロン ティアガイドさんの半生・ 純情青年編を小耳に入れつ つお土産屋へ、何とここに きてポロンティアガイドさ んが土産屋の売り子に転身、 同じものを四つ買えば一つ サービスと皆さんの購買意 欲をくすぐり財布の紐は緩 み放題。カゴがモツサリし ておりますぞ皆さん方。 さて、日付変わって翌朝、 タベの宴会の余韻が冷めや らぬ中、黄檗宗(オウバク シュウ)東光寺から萩城下 町散策へ。 萩の街は戦火を免れ、昔 からの町並みがそのまま現 存しているらしく、江戸時 代の地図がそのまま使える 珍しい街。重要文化財の建 ち並ぶ路地は、ゆっくりと 時間が過ぎて行くようだし た。 とはいってもやはり旅行 時間は限られておりまして、 最後の目的地徳佐でリンゴ 狩りに。 何とこの徳佐、西日本で 最大のリンゴ生産量を誇る 地域。前日も雨の中観光客 がリンゴ狩りを楽しんで いったそつで、皆さんの袋 も結構パンパンですよ。 まあそんなこと言ってる自 分も、ジャム用のリンゴを 箱買いしましたが(笑) お天気の良い二日間であ りましたが、笑顔が絶えない楽し い旅行となりました。(小野)

県議会だより

38

長崎県議会議員 金子三智郎

龍馬にかわって長崎を舞 台に活躍した人。それは梅 屋庄吉です。

長崎の経済発展を図るに は、お隣り、特に中国の上 海との交流が欠かせません。

上海は、四〇〇万人の人 口で、中国でも三・四番目 の大都市です。梅屋庄吉に

金子三智郎

ついでにはほとんど知られて ないと思いますが、今回行 なわれました上海の万国博 覧でも特別展が行なわれま した。

梅屋庄吉は孫文の革命後、 袁世凱の専制体制復活によ り再び命をねらわれ、亡命 を余儀なくされ、その亡命 先として選んだ国が日本で、

梅屋庄吉を頼って一九二三 年に来日しています。 その所在としては、長崎 市の史跡として「孫文先生 故縁の地」として浜の町

「君は兵を挙げよ、我は財 置する」とる茶ん」横に石 碑が一本だけでは、さ



碑が建っています。 元々、浜の町の鉄橋近く に梅谷商店が有ったようで

すが、残念ながら「梅屋庄 吉宅跡」等の梅屋庄吉を示 すような標識は長崎中探し てもありません。

「長崎さるく」の検索で も残念ながら出てきません。

中国でずば抜けた知名度 を誇る「孫文」の全面的な 支援者が長崎に在住し ていた、ということをも らう最高の舞台が、

今そそりました。 その舞台である長崎 に、孫文に関しての記 念するものが単に「孫 文先生故縁の地」の石 碑が一本だけでは、さ



北松支部 住宅デー

悪天候の中、二百十四本の包丁を 研ぎ上げる

鹿町分会では、十月二十 四日(日)、鹿町文化祭に参 加し、包丁研ぎを行いました。

会場は悪天候の為、テン トも立てる事ができず、公 民館の軒先を利用して、研 ぐことになりました。

今年で四回目ということ もあり、雨の降りしきる中、 常連の方を含めた皆さんの 包丁を持って見

えられ、受付は 混雑しましたが、 今回は、研ぎ手 が十七名と多く、 お客さんを長く 待たせることも



- | 参加者 | | (敬称略) | |
|-------|-------|-------|--|
| 田中 祐二 | 萩原 正清 | 松田 直 | |
| 川久保 豊 | 中野 芳行 | 湯村 保 | |
| 前田 修一 | 川久保重重 | 川久保 修 | |
| 田中 誠二 | 川尻 誠 | 筒井 健二 | |
| 須藤 輝久 | 坂中 善男 | 近藤 力也 | |
| 池田 茂夫 | 和田 茂史 | | |

